

# 星城懇話会

第25号

2016.1 発行

発行：星城懇話会事務局 〒476-8588 東海市富貴ノ台 2-172 TEL052-689-6002 / FAX052-689-6003

## CONTENTS

》》教育講演会「言葉の教育」金田一秀穂先生

》》会員交流会

》》創立者石田毓徳先生没後40年を迎えて(明德忌)

》》プロ野球選手誕生西濱選手 中日ドラゴンズ入団

》》男子バレー 石川祐希選手活躍 / チェロ奏者 佐藤桂菜さん



## 平成27年度 教育講演会「言葉の教育」金田一秀穂 先生

11月3日(火・祝)名古屋観光ホテルにおいて「言葉の教育」と題し、金田一秀穂先生の講演会が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、受付開始時刻より随分と早く「より良い席を」とお見えになる方が続き、あっという間に会場を埋め尽くしてしまうほどの盛況となりました。

最初に、谷口会長より「人格形成のための母語としての国語は大切」だという話があり、続いて、石田名誉会長より「One Seijohを掲げる学園の応援団の星城懇話会の会員の皆さまには、このような講演会を開催するなど、文化の提供をさせていただいています」との挨拶の後、講演会が始まりました。

祖父に 京助 氏、父に 春彦 氏を持つ金田一秀穂先生の講演は、より身近な話題を取り上げながら、とてもわかりやすく、大変有意義な講演会となりました。336名ものご参加をいただき、誠にありがとうございました。

## 「言葉の教育」とは

～相手の顔を見て心がこもった「言葉」で話すことが必要～



【満員の会場】

「言葉」というものの定義として、無文字社会だった孟子・仏陀・キリスト・ソクラテス・モハメッドは自ら何も書きとめませんでした。師匠の歌や言葉を聞いた弟子たちが、後にまとめたものが、経典・聖書・コーランです。従って、言葉から文字が生まれ、有文字社会へと発展しました。

そもそも、世の中で最高の言葉は、母親が赤ちゃんに愛情を込めて語りかける言葉です。心がこもった言葉のシャワーをたくさん浴びることによって、赤ちゃんの頭の中は言葉でいっぱい

いになり、それが溢れ出て、ひとり言となって現れます。しかも、言葉と頭の中は一致している状態なので、嘘をつくことができない時期でもあります。成長するに従ってだんだんと知恵がつき、状況に応じて自分の意見を変えることができるようになります。これが、嘘をつくことを覚えたことであり、成長した証拠です。子どもというものは親の真似をします。アニメの登場人物で例えると「ちびまる子ちゃん」は、おじいちゃん大好きな、とっても健全な子どもであり、「クレヨンしんちゃん」は、学校のPTAで問題になりましたが、お父さんが大好きだから、お父さんの真似をする、また家族をとっても大切に思っている、純粋な子どもです。しかし「サザエさんのタラちゃん」は、一見、お利口にみえますが家族が誰も使わない変な敬語で話しています。すごく気を遣っている、危険な子どもだと思つたと話されました。

一般的に「サザエさんのタラちゃん」は良い子にみえると思われていましたが、危険な子どもだと定義された際は、会場内が少しざわつき、そういう見方もあるのかなという感想がありました。

最後に、言葉が持つ力を実感するものとして「刺身」を例えにあげられました。「刺身」と聞くと美味しそうに見えます。しかし、「死んだ魚の生の肉」と耳にした途端に、とても嫌なものに感じますし、「キトキト」はこりこりして美味しいけれど、これは実際は「死後硬直」になります。このように言葉の表現で全く違ったものを感じてしまうというように「言葉」が持つ力は大きいものだと言われました。

言葉を交わすことで始めてお互いが理解し合えるのであって、メールや電話ではなく、相手の顔を見て心がこもった「言葉」で話すことの必要性を強く感じさせたそんな講演でした。



- ◎「ゴミ袋」の「ゴミ」は何故カタカナで書くのか？
- ◎「ゴミを捨てないで」の「ゴミ」を強調したいのか  
「捨てないで」を強調したいのか、「捨てないで」を強調したいなら、何故カタカナにしないのか？
- ◎「裏表」というが、何故「表裏」ではないのか？
- ◎「犬猫」というが、何故「猫犬」ではないのか？
- ◎「左右」は「さゆう」と音読みだが、「右左」は「みぎひだり」訓読み、何故か？



皆さまもお考えください

# 会員交流会



【谷口正明会長】

12月10日（木）メルパルク名古屋において「会員交流会」が開催されました。

始めに、谷口会長の挨拶があり、続いて石田名誉会長の挨拶がありました。

今年のイベントである「Asami Miyata and Kazuto Miwa Quartet」のメンバーが登場し、サクソ、ベース、キーボード、カホンでのジャズ演奏が始まりました。2曲目の「Love」からはボーカルが加わり、透き通るような歌声に会場中が惹き込まれていきました。また、カホンという打楽器の奥深さは目を見張るものがあり、大変興味深いものでした。30分間の演奏時間は、あっという間に過ぎ、ジャズの余韻を残しながら、お待ちかねの「会員交流会」です。異業種交流ということもあり、名刺を持った皆さま方が挨拶される光景があちらこちらで見受けられました。



【西川右近理事による乾杯】



【和やかな雰囲気交流会】

和やかな歓談が続き、最後のプログラムの企業PRタイムでは、新規に会員となられた「株式会社ヤクルト東海」様、「大塚ウエルネスベンディング」様、「サンポッカサービス株式会社」様の3社の自社PRから始まりました。続いて、「わが社こそは」と立候補していただいていた「株式会社JTB中部」様が登場され、冒頭に「3社は飲料対決でしたが、今後は旅行対決です」との牽制を受けた「近畿日本ツーリスト株式会社」様の「売られたケンカは買います」との掛け合いに、会場は大いに盛り上がりました。

星城高等学校や星城大学の卒業生も多数参加される中、名誉会長挨拶の際に紹介された星城高等学校卒業生の榊原秀治様が調理統括副総料理長を務める「名鉄グランドホテル」様が飛び入り参加されました。最後は星城大学キャリア支援課よりの学生の就職のお願いと、会員交流会初の試みとしての、名古屋石田学園全体のPRで締めくくられ、平成27年度「星城懇話会会員交流会」は145名の会員様にご参加いただき、大変好評な会となりました。

## 明德忌

12月22日（火）星城高等学校アトリウムにおいて明德忌が執り行われました。

明德忌は、学園関係者が一同に会し、創立者の遺徳を偲び、偉業を讃え、その精神を脈々と伝承していくことを認識しあい、献花を行う式典です。今年、創立者石田鑣徳先生没後40年目にあたるため、式典の前に「偲ぶ会」が開催されました。

「名古屋石田学園報No.45」一星城VISION80と題し、特集されておりますので、併せてご覧ください。



【偲ぶ会にて】



【来賓の方々の献花】



【献花を終えた学園教職員】

## 星城大学初のプロ野球選手誕生

にしはまみきひろ

### 西濱幹紘選手 中日ドラゴンズ入団発表

星城大学初のプロ野球選手の誕生について記者より感想を求められ…

「星城大学はまだ歴史の浅い大学であるため、自分がその歴史に名前を刻むことができていると嬉しい。また、自分の持ち味であるストレートの威力を注目してもらいたい」と力強くアピール。皆さま、応援よろしくお願ひいたします!!



【西濱幹紘選手(上段右より3人目)】

## 目指せ! オリンピック

### 星城高等学校の学園祭にサプライズ出演!!

男子バレーボール界の救世主として期待を集める若きエース、石川祐希選手。世界の強豪プロチーム、イタリアの名門『モデナ』でのプロ経験を経て、バレーボールの男子日本代表として次世代を担う4人『NEXT4』に選ばれました。ワールドカップでは、星城高等学校の先輩である、深津英臣選手とともに強豪国にも善戦し、高いスパイク決定率で得点をたたき出し、「大会ベスト6」にも選ばれました。オリンピックでプレーする姿が楽しみです。



【石川祐希選手(左) 深津英臣選手(右)】

## 将来が楽しみ! チェロ奏者

佐藤桂菜 (さとうけいな) さん 星城中学校3年生



【佐藤桂菜さん】

佐藤桂菜さんとチェロとの出会いは、3歳。現在まで【第25回日本クラシック音楽コンクール第1位、第2回刈谷国際音楽コンクール第1位、ウィーン国立音楽大学サマーセミナー ディプロマ取得】等、数々のコンクールで輝かしい評価を手に収めてきました。また、1月3日に行われたNHKナゴヤニューイヤーコンサートにも出演し、名古屋フィルハーモニー交響楽団と共に堂々と演奏をし、会場内は絶賛の拍手で埋め尽くされていました。まだ中学生、もう中学生といった言葉とは無縁の、1人のソリストとしての風格を感じさせる佐藤桂菜さんに星城中学校での3年間について聞きました。

「星城中学に入学し、自分では想像していなかった様々な行事を体験し、自分で考え、自分で行動すること、自分自身で責任を持つことの意味を考えることができました。そのことは、私の大好きなチェロを思う存分演奏できる幸せと、多くの人々への感謝の気持ちを教えてくれました。星城中学校での3年間から、自分が進んできた道への自信をもらった気がします」と、にこやかに語ってくれました。

## 新規会員登録募集

星城懇話会は、教育・文化・芸術分野において、地域社会と名古屋石田学園との相互交流を深めるとともに、地域社会活性化に貢献することを目的として、平成18年に発足しました。以来、地域社会とのコミュニケーション、会員の相互支援・相互協力を図る場として順調に活動を続け、年を経るごとに盛り上がりを見せております。ぜひ、興味がある方がおみえになりましたら、ご紹介いただきますようよろしくお願いいたします。

【星城懇話会事務局】TEL:052-689-6002/FAX:052-689-6003